

POWER AMPLIFIER
IPA 8200

取扱説明書



安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源 / 電源コード



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。
故障、発熱、火災などの原因になります。



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

接続



必ず実行

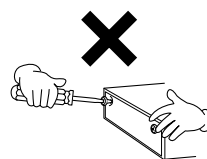
アース(接地)を確実にこなう。
電源コードには、感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアース接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

分解禁止



禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



水に注意



禁止

この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

異常に気づいたら



必ず実行

電源コードやプラグがいたんだ場合、または使用中に音が出なくなったり異常においや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



必ず実行

この機器を落とすなどして破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源コード



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



設置



必ず実行

この機器を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

この機器をEIA標準のラックにマウントする場合は、5ページの「ラックマウント時の注意」をよく読んでから設置する。
放熱が不十分だと機器内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になることがあります。



禁止

風通しの悪い狭いところに押し込めたりしない。
EIA標準のラック以外にこの機器を入れる場合は、この機器を壁や他の機器から左右に5cm、後ろに10cm、上に10cm以上離してください。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。
この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

不安定な場所に置かない。
この機器が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



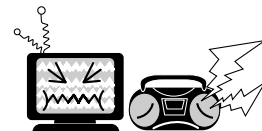
禁止

この機器の通風孔をふさがない。
内部の温度上昇を防ぐため、この機器のフロントパネル/リアパネルには通風孔があります。特に、この機器をひっくり返したり、横倒しや前後逆さまにしたりしない。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。
故障の原因になります。

接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量(ボリューム)を最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。



必ず実行

スピーカーの接続は、必ず電源を切った上で行なう。また、スピーカーの接続には、スピーカー接続専用のケーブルを使用する。

火災または感電の原因になることがあります。

使用時の注意



必ず実行

スピーカーの故障を防ぐために、電源を入れるときは、最後にこの機器の電源を入れる。また、電源を切るときは、最初にこの機器の電源を切る。



必ず実行

機器の周囲温度が極端に変化する(機器の移動時や急激な冷暖房下など)と、結露することがあります。そのまま使用すると故障の原因になることがありますので、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。



禁止

この機器の通風孔のすき間に手や指を入れない。お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

この機器の通風孔のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

大きな音量で長時間スピーカーを使用しない。聴覚障害の原因になります。



禁止

この機器の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。この機器が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

この機器はスピーカー再生以外の用途には使用しない。故障の原因になることがあります。

- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

スイッチ、ボリュームコントロール、接続端子などの消耗部品は、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要になります。消耗部品の交換は、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

この製品は、JIS C 61000-3-2 に適合しています。

- この取扱説明書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。

はじめに

このたびはヤマハ パワーアンプリファイアー IPA8200をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。IPA8200の優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。また、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管いただきますようお願いいたします。

特長

- 200W@4Ω×8の省スペース高効率マルチチャンネルパワーアンプ
- 用途に応じて切り替え可能なSTEREO/PARALLEL/BRIDGEモード
- 施工性に優れたユーロブロック入力端子とバリアストリップ出力端子を装備
- カットオフ周波数(20Hz/55Hz)が切り替え可能なハイパスフィルターを装備
- 3ポジション(+4dBu, 26dB, 32dB)の入力感度/ゲイン切り替えスイッチを装備

ラックマウント時の注意

この機器が動作保障する室温は0～40℃です。この機器だけをEIA標準のラックにマウントする場合は、複数台を隙間なくマウントしてご使用いただけます。この機器を他の機器と一緒にEIA標準のラックにマウントする場合、各機器からの熱でラック内の温度が上昇し、十分な性能を発揮できないことがあります。この機器に熱がこもらないように、必ず以下の条件でラックにマウントしてください。

- ・ 他社製パワーアンプなどの発熱しやすい機器と一緒にマウントする場合は、他の機器との間を1U以上空けてください。また、このスペースは通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。
- ・ ラックの背面を開放して、ラックを壁や天井から10cm以上離し、十分な通気を確保してください。ラック背面を開放できない場合は、ラックに市販のファンキットなどの強制換気装置を取り付けてください。ファンキットを取り付けた場合は、ラックの背面を閉じた方が放熱効果が大きくなることもあります。詳しくはラックおよびファンキットの取扱説明書をご参照ください。

目次

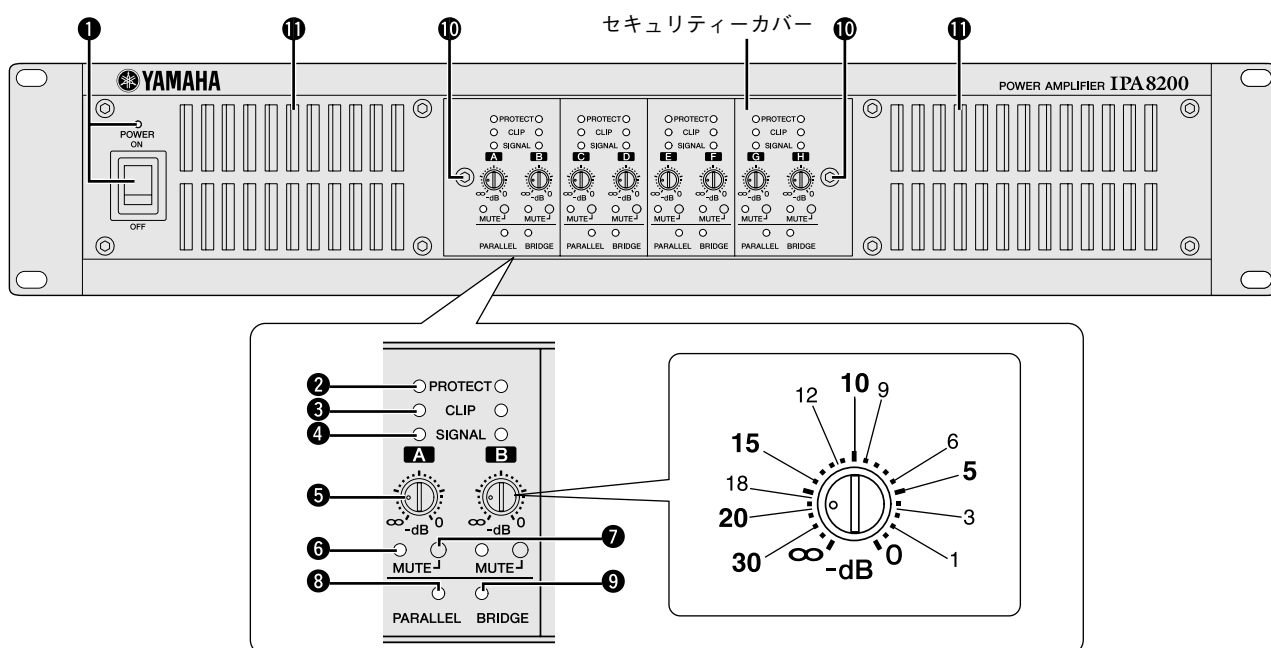
はじめに	5
特長	5
ラックマウント時の注意	5
各部の名称と機能	7
フロントパネル	7
リアパネル	8
モードの設定	9
STEREOモード	9
PARALLELモード	9
BRIDGEモード	9
接続	10
入力端子の接続(ユーロブロック)	10
スピーカーの接続(バリアストリップ)	10
困ったときは	11
仕様	12
一般仕様	12
Block Diagram	13
Dimensions	13
Current Draw	14
保証書	15
サービスについて	16

付属品(お確かめください)

- ・ IPA8200取扱説明書(本書)
- ・ 電源コード(2.5m) × 1
- ・ セキュリティーカバー × 1
- ・ 六角レンチ × 1
- ・ セキュリティーカバー取り付け用ネジ × 2
- ・ ユーロブロック(3P) × 8

各部の名称と機能

フロントパネル



① POWERスイッチ、インジケター

電源のオン/オフを切り替えます。オンにすると、インジケターが緑色に点灯します。

② PROTECTインジケター

プロテクション(保護)回路が作動しているときに赤色に点灯します。点灯中は、アンプまたは電源が自動的に停止するので、スピーカーから音は出ません。

③ CLIPインジケター

出力が、8Ω 負荷時100W、4Ω 負荷時200Wを超えると赤色に点灯します。点灯中は、自動的にリミッターが動作します。

④ SIGNALインジケター

出力レベルが2Vrmsを超えると、インジケターが緑色に点灯します。(8Ω 負荷時0.5W、4Ω 負荷時1W以上で点灯します。)

⑤ アッテネーター

チャンネルごと(A~H)の入力信号をそれぞれ0dB ~ -∞dBの41段階で減衰させるクリック付きつまみです。

NOTE ・つまみの操作には、ブレード幅5.5mm以下のマイナスインドライバーを使用してください。

⑥ MUTEインジケター

ミュートに設定しているときに赤色に点灯します。

⑦ MUTEスイッチ

チャンネルごとに、ミュートのオン/オフを切り替えます。MUTEスイッチのオン/オフには先端が細い棒などを使用してください。

⑧ PARALLELインジケター

リアパネルにあるMODEスイッチをPARALLELに設定しているときに、オレンジ色に点灯します。

⑨ BRIDGEインジケター

リアパネルにあるMODEスイッチをBRIDGEに設定しているときに、オレンジ色に点灯します。

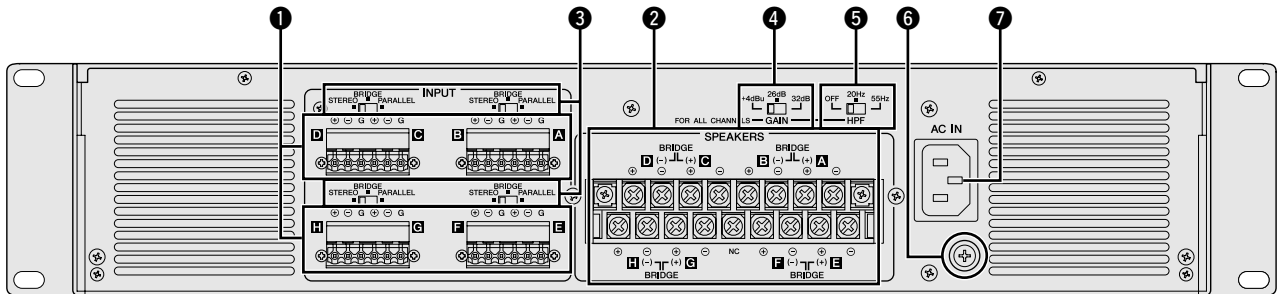
⑩ セキュリティーカバー用ネジ穴

必要に応じて、アッテネーターの周囲にあるネジ穴(2箇所)に付属のセキュリティーカバーを取り付け、アッテネーター設定を固定できます。付属の六角レンチと付属のネジで取り付けてください。

⑪ 吸気口

前面吸気、後面排気方式の冷却用変速ファンが装備されています。変速ファンは、ヒートシンクの温度が65℃以下のときは低速、65℃を超えると高速回転になります。ここから吸気が行なわれますので、障害物などで吸気口をふさがらないでください。

リアパネル



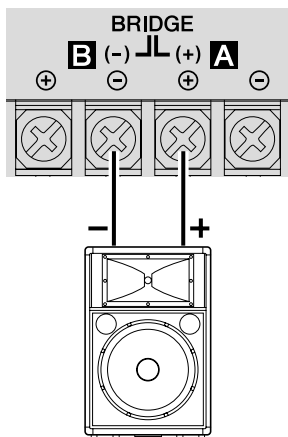
① INPUT 端子

バランスの入力端子です。付属のユーロブロックコネクタで接続します。

② SPEAKERS 端子

バリアストリップタイプのスピーカー出力端子です。

- NOTE**
- ・ BRIDGEモード時は、チャンネルA/C/E/Gの「+」ピンとチャンネルB/D/F/Hの「-」ピンにスピーカーを接続してください。
 - ・ バリアストリップ端子の下端中央のピン(NC)には接続しないでください。



③ MODE スイッチ

2チャンネルごとに、アンプの動作モードを設定します。

- ・ **STEREOモード**
各チャンネル(A~H)のアンプが個別に動作します。
- ・ **BRIDGEモード**
隣り合う2チャンネル(A-B、C-D、E-F、G-H)のペアでアンプがブリッジされ、ハイパワーの出力が得られます。
- ・ **PARALLELモード**
入力信号が隣り合うチャンネル(A-B、C-D、E-F、G-H)にも入力されます。

④ GAIN スイッチ

すべてのチャンネルの入力感度/ゲインをまとめて切り替えます。

- ・ **+4dBu**: 入力感度を+4dBuに設定します。
- ・ **26dB**: ゲインを26dBに設定します。
- ・ **32dB**: ゲインを32dBに設定します。

⑤ HPF スイッチ

ハイパスフィルター (20Hzまたは55Hz)をオン/オフします。20Hzまたは55Hzに設定すると、その周波数以下の信号成分が12dB/oct.のフィルターでカットされます。

⑥ アース用ネジ

ハムや雑音が生じる場合には、このネジからアースに接続するか、ミキサーかプリアンプなどのシャーシと接続することで改善される場合があります。

⑦ AC インレット

付属のACコードのソケット側を接続します。ACコードのプラグ側はACコンセント100Vに接続してください。

注意 ラックにマウントした状態で頻りに運搬する場合は、ラックに適合した金具でアンプのリア部を支えてください。

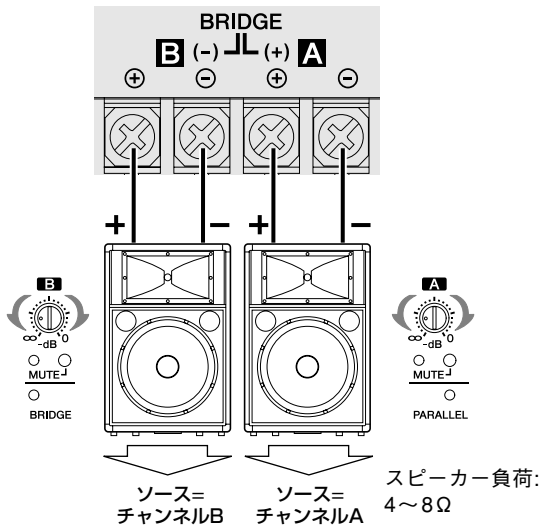
モードの設定

本機のスピーカー接続には、以下の3つのモード設定があります。

また、モード設定によって、接続できるスピーカーの総合負荷インピーダンスが異なりますので、下記の最小値より小さい状態で使用しないでください。

STEREOモード

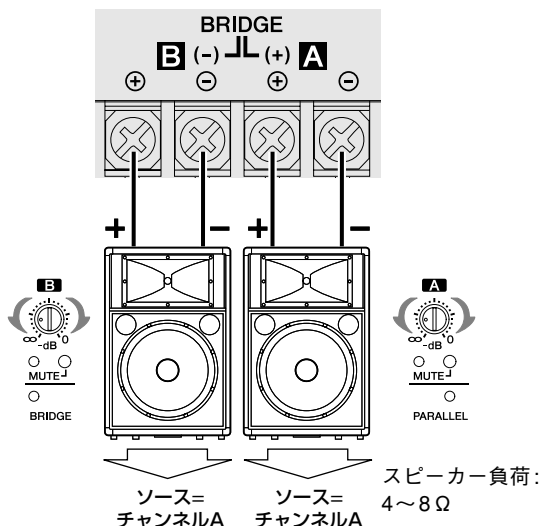
リアパネルのMODEスイッチをSTEREOに設定すると、各チャンネルが独立して動作します。フロントパネルのアッテネーターで各チャンネルとも独立して減衰量を調節できます。



NOTE 1 ・スピーカー負荷は4~8Ωでお使いください。

PARALLELモード

リアパネルのMODEスイッチをPARALLELに設定すると、入力信号が隣り合うチャンネル(A-B、C-D、E-F、G-H)にも入力されます。隣り合う2チャンネルのどちらか一方のみに信号を入力してください。フロントパネルのアッテネーターで各チャンネルとも独立して減衰量を調整できます。



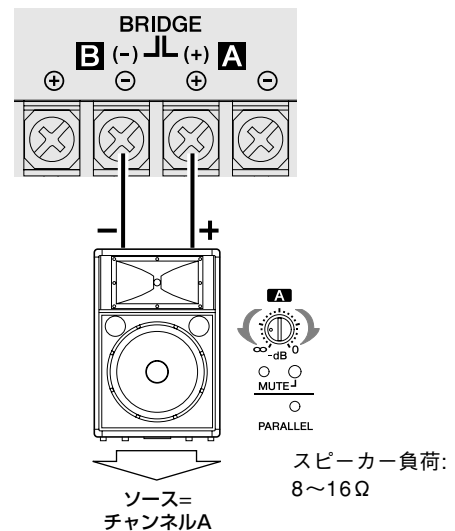
NOTE 1 ・スピーカー負荷は4~8Ωでお使いください。

BRIDGEモード

リアパネルのMODEスイッチをBRIDGEに設定すると、隣り合う2チャンネル(A-B、C-D、E-F、G-H)のペアでアンプがブリッジされ、ハイパワーアンプとして動作します。隣り合う2チャンネルのどちらか一方のみに信号を入力してください。フロントパネルのチャンネルA/C/E/Gのアッテネーターで減衰量を調整できます。

NOTE 1 ・BRIDGEモード時は、チャンネルA/C/E/Gの「+」ピンとチャンネルB/D/F/Hの「-」ピンにスピーカーを接続してください。

・スピーカー負荷は8~16Ωでお使いください。

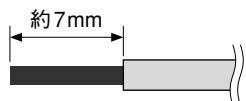


入力端子の接続(ユーロブロック)

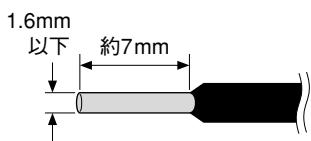
必ず付属のユーロブロックコネクタをお使いください。紛失した場合は、巻末に記載されているヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

● ケーブルの処理

- ユーロブロックプラグに取り付けるケーブルは、図のようにむき出して、より線で配線してください。また、ユーロブロックでの配線は、ケーブルの重さや振動による金属疲労により、より線が切れやすくなる場合があります。ラックマウント時は、できる限り束線バーなどを使用してケーブルを結束して固定してください。

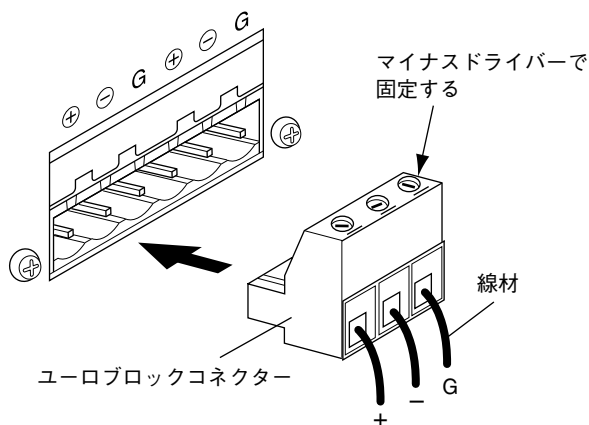


- 可搬設備などで頻繁に抜き差しされる場合は、絶縁スリーブ付き棒端子の使用を推奨します。棒端子のコンダクター部は、外径1.6mm以下で、長さ約7mmのもの(Phoenix Contact社製 A10,5-6WHなど)をご使用ください。



⚠ 注意 より線を使用する場合は、より線にはんだめっきしないでください。

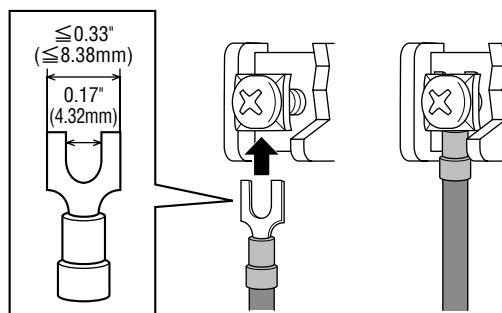
- 線材の差し込み口が閉じている場合は、上部のネジを左に回して開けます。
- 入力端子の極性表示にしたがって線材を差し込み、上部のネジを右に回して線材を固定します。
- ユーロブロックコネクタを本体側入力端子に接続します。



スピーカーの接続(バリアストリップ)

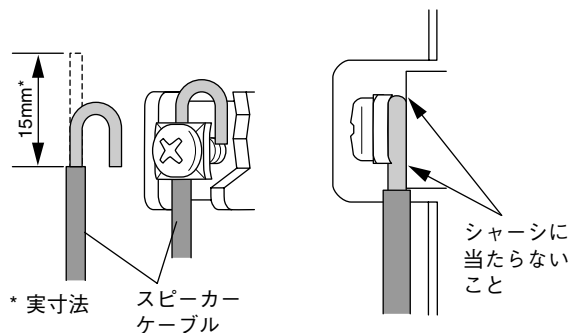
Y型プラグの場合

Y型プラグを下から奥まで差し込み、締め付けます。



芯線が剥き出しの場合

下図のようにバリアストリップ端子に巻き付け、締め付けます。このとき、芯線がシャーシに当たらないようにしてください。



- NOTE**
- バリアストリップ端子の下段中央のピン(NC)には接続しないでください。
 - BRIDGEモード時は、チャンネルA/C/E/Gの「+」ピンとチャンネルB/D/F/Hの「-」ピンにスピーカーを接続してください。

困ったときは

インジケータ表示	原因	処置	保護回路の状態
CLIPインジケータが点灯する。	出力が100W(8Ω)または200W(4Ω)を越えている。	入力レベルを下げてください。	リミッター回路が作動し、パワーアンプおよび電源を保護
PROTECTインジケータが点灯する。	スピーカー出力端子がショートしている。	スピーカー出力端子またはスピーカーケーブルがショートしていないか確認し、本体の電源を入れなおしてください。 それでもPROTECTインジケータが点灯している場合は、巻末に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。	プロテクション回路が作動し、パワーアンプおよび電源を保護
	アンプ部のヒートシンク温度が95℃または電源部のヒートシンク温度が85℃を超えている。	吸気口やラック内の通風状態が問題ないか、接続スピーカーの負荷インピーダンスが定格(4Ωまたは8Ω/BRIDGE)より低くないかを確認してください。 その後、本体の温度が下がるまで待ってから電源を入れなおしてください。 それでもPROTECTインジケータが点灯している場合は、巻末に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。	プロテクション回路が作動し、パワーアンプを保護
	スピーカー出力端子にDCオフセット電圧が出力されている。	巻末に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。	プロテクション回路が作動し、スピーカーを保護

仕様

一般仕様

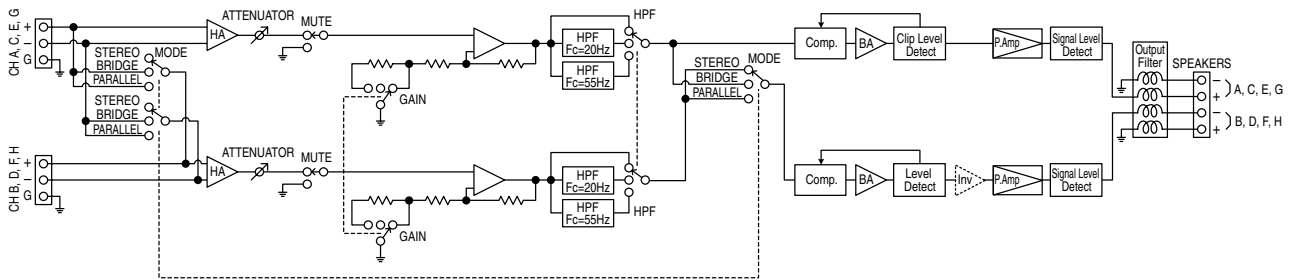
連続出力	4Ω per channel	200W × 8		
	8Ω per channel	100W × 8		
	8Ω / BRIDGE	400W × 4		
1kHz, THD + N = 1%	4Ω per channel	180W × 8		
	8Ω per channel	90W × 8		
	8Ω / BRIDGE	360W × 4		
20Hz-20kHz, THD + N = 1%	4Ω per channel	200W × 8		
	8Ω per channel	100W × 8		
	8Ω / BRIDGE	400W × 4		
1kHz, 20ms Burst	4Ω per channel	200W × 8		
	8Ω per channel	100W × 8		
	8Ω / BRIDGE	400W × 4		
最大入力レベル		+ 24dBu		
入力インピーダンス		20kΩ(balanced), 10kΩ(unbalanced)		
入力感度 (dBu)	Switch Position	+ 4dBu	26dB	32dB
	8Ω, Att. max	Input sensitivity	+ 4dBu	+ 5.2dBu - 0.8dBu
電圧利得	Switch Position	+ 4dBu	26dB	32dB
	Att. Max	Voltage Gain	27.2dB	26dB 32dB
SN比	A-weighted	≥ 100dB		
全高調波歪率	1kHz, half power, 4Ω	≤ 0.5%		
周波数特性	1W, 8Ω	20Hz-20kHz, + 0dB, - 1.5dB		
チャンネルセパレーション	1kHz, half power, 8Ω Att. max, input 600Ω shunt	≥ 60dB		
コントロール操作子	Front Panel	POWER switch (rocker) MUTE switch (push ON/push OFF) × 8 Attenuator (41 position) × 8		
	Rear Panel	MODE switch (STEREO/BRIDGE/PARALLEL) × 4 GAIN switch (+ 4dBu/26dB/32dB) × 1 HPF switch (OFF/20Hz/55Hz) × 1		
端子	Input	Euroblock (balanced)/ch		
	Output	Barrier strip/ch		
	Power	AC inlet × 1		
インジケータ		POWER × 1 (Green), PROTECT × 8 (Red), CLIP × 8 (Red), SIGNAL × 8 (Green), MUTE × 8 (Red), PARALLEL × 4 (Orange), BRIDGE × 4 (Orange)		
負荷保護	POWER switch on/off	Output mute		
	DC-fault	Power supply shutdown		
アンプ保護	Thermal	Output mute (heatsink temp ≥ 95℃)		
	Over current	Power supply shutdown		
電源保護	Thermal	Power supply shutdown (heatsink temp ≥ 85℃)		
リミッター回路	Clip limiting	Limiting level ≥ 100W @ 8Ω or 200W @ 4Ω		
冷却		High/Low two speed fan × 2		
電源条件		100V, 50Hz/60Hz		
消費電力		400W		
外形寸法 (W × H × D)		480 × 88 × 406.5mm (奥行きはパネル面より背面マウント金具まで)		
質量		10.5kg		
付属品		電源コード(2.5m) × 1、セキュリティカバー × 1、 六角レンチ × 1、セキュリティカバー取り付け用ネジ × 2、 ユーロブロック(3P) × 8、取扱説明書(本書)		

- half power: 定格出力より3dB低い出力
- 0dBu=0.775Vrms
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

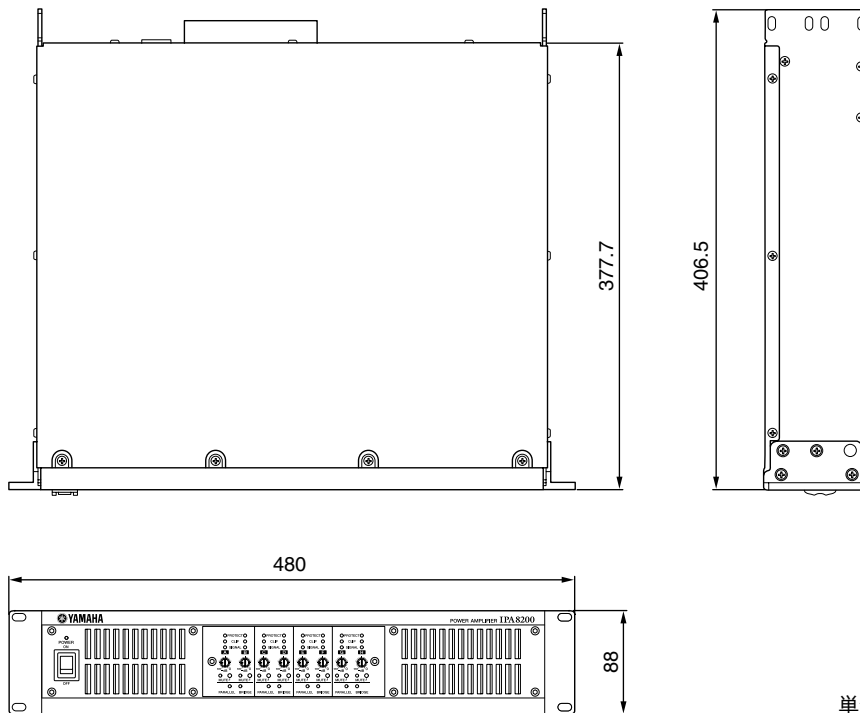
⚠ 注意 出力測定時のご注意

電源への負荷を均一化し、特に大音量時の低音域のレスポンスを向上させるため、チャンネルB/D/F/Hはパワーアンプ部の直前で信号の極性を反転し、対応したSPEAKERS端子の「-」ピンに出力する設計になっています(ブロックダイアグラム参照)。出力を測定する場合にはバランス入力に対応した測定器の使用をおすすめいたします。アンバランス入力だけに対応した測定器を使用する場合は、チャンネルB/D/F/Hの「+」ピンをグランドとして「-」ピンにプローブを当てて十分注意して測定してください。プローブの使用を間違えると、アンプや測定器の故障の原因となります。

Block Diagram



Dimensions



単位: mm

Current Draw

	Line Current (A)	Power (W)			Thermal Dissipation		
		In	Out	Dissipated	Btu/h	kcal/h	
idle	0.8	69	0	69	235	59	
1/8 power	8Ω/ch	1.9	189	100	89	304	77
	4Ω/ch	3.3	327	200	127	433	109
1/3 power	8Ω/ch	3.9	389	267	122	417	105
	4Ω/ch	7.7	774	533	241	821	207

1/8 power is typical of program material with occasional clipping. Refer to these figures for most applications.

1/3 power represents program material with extremely heavy clipping.

Test signal: Pink Noise, bandwidth limited from 22Hz to 22kHz

1W = 0.860kcal/h, 1BTU = 0.252kcal

Note that Line Voltage [V] x Line Current [A] = [VA], not equals to [W].

Inrush current: 11A

保証書

出張修理

品名	POWER AMPLIFIER	
品番	IPA8200	
※シリアル番号		
保証期間	本体	お買上げの日から1ケ年間
※お買上げ日	年 月 日	
お客様	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
	ご住所	
	お名前 様	
	電話 ()	

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

※販売店	店名	印
	所在地	
	電話 ()	

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル1F
TEL. 03-5652-3850

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、お買上げの販売店にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - 消耗部品の交換。
 - 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

* この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

* ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

* ヤマハ株式会社の連絡窓口その他につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせの必要がございましたら、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

● 保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのは、製品ごとに定められています。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

ご希望により有料にて修理させていただきます。下記の部品などについては、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品の例
フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

● 修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

● 損害に対する責任

この製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

● お客様ご相談窓口

アフターサービス以外で、製品に関するご質問・ご相談は、お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

お客様ご相談窓口: ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

Tel: 03-5652-3618 Fax: 03-5652-3634 (電話受付=祝祭日を除く月~金/11:00~19:00)

オンラインサポート: <http://jp.yamaha.com/support>

◆ 営業窓口

PA営業部 マーケティンググループ

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12 KDX箱崎ビル 1F Tel: 03-5652-3851

◆ 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

● ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

※全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830

● 受付時間

月曜日~金曜日 9:00~18:00、土曜日 9:00~17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)

● FAX

東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海) 03-5762-2125

西日本(沖縄/九州/中国/四国/近畿/北陸) 06-6465-0367

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日~金曜日 9:00~17:45 (祝日および弊社休業日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006

東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024

大阪市此花区島屋6丁目2-82 ユニバーサル・シティ和幸ビル9F

FAX 06-6465-0374

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト:
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

ヤマハマニュアルライブラリー:
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

C.S.G., Pro Audio Division
© 2009-2011 Yamaha Corporation

305PO-01E0